

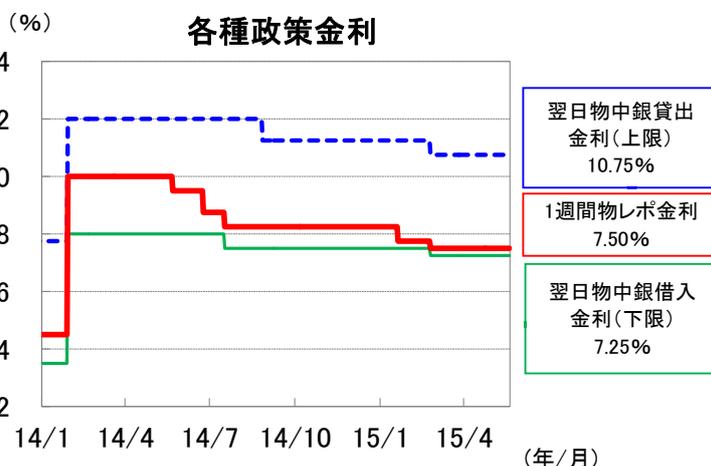
今日のトピック

トルコ中銀、3会合連続で政策金利を据え置き

ポイント1 各種政策金利を据え置き

市場予想通りの決定

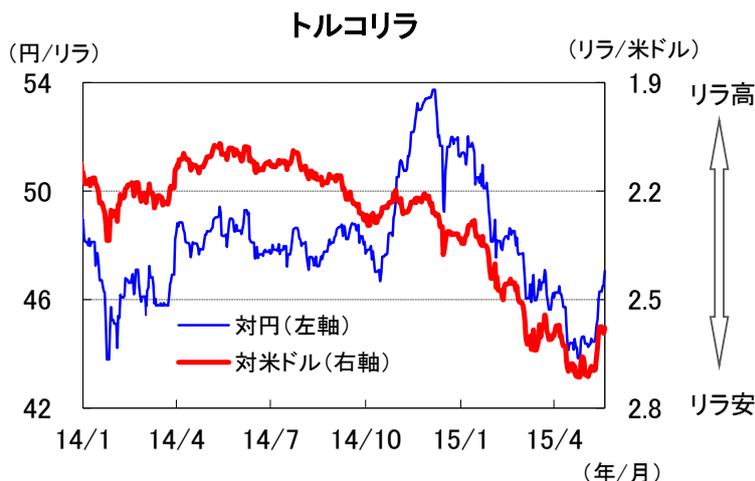
- トルコ中央銀行(以下、中銀)は20日、主要な政策金利である1週間物レポ金利を7.50%に、金利誘導レンジの上限金利を10.75%に、下限金利を7.25%に据え置くことを発表しました。
- 各種政策金利の据え置きは3月の会合以来3会合連続で、市場予想通りの決定になりました。



ポイント2 物価見通し改善を待つ姿勢

リラの安定が利下げのカギ

- 中銀は、これまでの金融引き締め策により物価の基調が落ち着きつつあると見ています。ただし、当面についてはリラ安やエネルギー・食品価格の上昇による物価への影響を警戒しており、現行の高めの政策金利を維持することとしました。
- 消費者物価指数の市場予想は、1年後に年+6.85%(4月は同+7.91%)と、中銀の物価目標(年+5.0%)を上回る見込みです。中銀は、物価見通しが顕著に改善するまで、現行の金融引き締めスタンスを維持する方針です。
- 足元では米国の早期利上げ観測の後退などから、リラが回復基調にあります。リラが安定し、物価見通しが改善する場合には利下げが可能となり、景気拡大期待が強まると考えられます。



(注) 上下グラフともデータ期間は2014年1月1日～2015年5月20日。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 6月7日の総選挙を巡る不透明感は、リラの上値を抑える要因に

- トルコでは6月7日に総選挙が予定されています。市場では、比較的高い経済成長を実現してきた実績などから、与党公正発展党(AKP)の単独政権継続への期待が高い状況です。一方、AKP単独で憲法改正を議決できるほどの議席数(3分の2以上)を獲得することへの警戒も強い状況です。
- AKPは、エルドアン大統領の権限を強化するよう憲法改正を目指しています。同大統領による中銀の政策への介入懸念などから、市場は権限強化を警戒しています。総選挙が終了し、政治的不透明感が解消されれば、リラは底堅い展開になりそうです。

ここも チェック!

2015年04月23日 トルコ中銀、政策金利を据え置き、リラの安定化策を追加
2015年04月16日 トルコリラの最近の動向と今後の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。